

＜共テ古文ゼロから満点講座＞第二講 文法問題編

主に問2で出題される文法の識別問題のパターンはこの2つ！

① 正しい品詞分解できているかを問う問題

↓ 述語にあたる用言！！

が焦点になる

「が」で切れるか

② 助動詞や助詞の正しい意味を問う問題

↓ () が焦点になる

まずは用言の活用形から見ていくんですが、何形かわかると何がいいのか！

① 下にある()

がわかる

&

② 勝手に()

されている部分を理解できる！

では動詞の識別から攻略しましょう！

「ポイント① 識別問題の基本」

！

「動詞は「コ」で切る！」

動詞の()

() は現代語とほぼ同じなので、そこをベースにする！

↓ 「」の上に来る形から判断！

書く → 書か・ず

起く → 起き・ず

受く → 受け・ず

() の音の場合

() の音の場合

() の音の場合

() で切る

() で切る

() で切る

書か^{ka} / む 書き^{ki} / けり

起き^{ki} / ず 起き^{ki} / たり

受け^e / ず 受け^e / たり

書く^{ku} / べし 書く^{ku} / とき

起く^{ku} / べし 起く^{ku} / とき

受く^{ku} / べし 受く^{ku} / とき

書け^e / る 書け^e

起くれ^{ke} / ば 起き^{ki} / ぬ

受くれ^{ke} / ば 受け^e / ぬ

(例題1)

傍線部②④⑤についての文法的説明として正しくないものを、次の①～⑥のうちから一つ選ぼう。(『井関隆子日記』)

① 今年十年まり七年になむなれば ② 公事さし合ひぬべかめれば

③ いたはりおこたりなば ④ 憂ひ嘆かれしを

⑤ この事にあへるも ⑥ あり果てぬ世にはあれども

① ①「れれ」は、動詞の活用語尾に、完了の助動詞「り」の已然形が接続したもの。

② ②「ひぬ」は、動詞の活用語尾に、完了の助動詞「ぬ」の終止形が接続したもの。

③ ③「りな」は、動詞の活用語尾に、完了の助動詞「ぬ」の未然形が接続したもの。

④ ④「れし」は、尊敬の助動詞「る」の連用形に、過去の助動詞「き」の連体形が接続したもの。

⑤ ⑤「へる」は、動詞の活用語尾に、完了の助動詞「り」の連体形が接続したもの。

⑥ ⑥「てぬ」は、完了の助動詞「つ」の未然形に、打消の助動詞「ず」の連体形が接続したもの。

(解説)

ポイント①より、まず動詞を正確に切ってみる。

1 動詞を探して、「〇ず」の形を考える。

- | | |
|-------------------------------|--|
| ① (なむ)なれば→なむ・ず→()の音→()で切る | |
| ② さし合ひぬべかめ→さし合はず→()の音→()で切る | |
| ③ おこたりなば→おこたらず→()の音→()で切る | |
| ④ 嘆かれしを→嘆か・ず→()の音→()で切る | |
| ⑤ あへるも→あは・ず→()の音→()で切る | |
| ⑥ あり果てぬ→果て・ず→()の音→()で切る | |

(注意)

⑥の「あへる」を「とすめるのは」「逢う」などが()と
いう()の意味が入ってしまうので、NGー。

② 動詞を切って、選択肢をチェックする

- ① なれ^レば……① 動詞の活用語尾 + 完了の助動詞「^レ」の④「^レ」
 ② 合^レひぬ……② 動詞の活用語尾 + 完了の助動詞「ぬ」の③「^レ」
 ③ おこた^レりな^レば……③ 動詞の活用語尾 + 完了の助動詞「ぬ」の③「^レ」
 ④ 嘆^レか^レれしを……④ 尊敬の助動詞「る」の④ + 過去の助動詞「き」の④

↓まだ助動詞のことはやっていないので、「^レ」にしておく

- ⑤ あへ^レるも……⑤ 動詞の活用語尾 + 完了の助動詞「る」の④「^レ」
 ⑥ あり果^レてぬ……⑥ 完了の助動詞「^レ」の④ + 打消の助動詞「ず」の④
 ↓「^レ」は()なので()

ということで、今回のこの問題は、動詞の切り方だけで解けます。共テではこのような問題はほぼ出ませんが、動詞が何形かわかると助動詞の把握と文脈把握の大きなヒントになるので、覚えましょう！

「動詞の活用まとめ」

・基本は「ず」を付けて判断する！一部覚えておかないとダメなモノがある

サ変……「^レ」
 カ変……「^レ」
 ナ変……「^レ」
 ラ変……「^レ」

・「ず」を付けたときに注意が必要なモノ

- ① 飽^く……飽() (ず↑飽きず×)
 ② 恨^む……恨() (ず↑恨まず×)
 ③ 借^る……借() (ず↑借りず×)
 ④ 恋^ふ……恋() (ず↑恋はず×)
 ⑤ 足^る……足() (ず↑足りず×)
 ⑥ 旧^る……旧() (ず↑旧らず×)

※旧[古]る……古くなる・年をとる

次に形容詞についてです！現代語では「美しい」とか「涼しい」とか、語尾が「い」で終わるんですが、古文では「で終わります」。「美しい」↓「美しい」↓「涼しい」↓「涼しい」となり、時には「いみじ」のように「で終わる」ものもある。

形容詞の活用は動詞のように色々はなくて、「ク活用」と「シク活用」の二種類だけです！見分け方もシンプルで、後ろに「を付けて判断する」。「暑い」↓「暑くなる」||「ク活用」、「美しい」↓「美しくなる」||「シク活用」という感じです。

「どう活用するかも、ワンパターンなので、呪文のように唱えて覚えよう！」「に」「に」「に」

基本形		語幹
暑し	暑	
		未然
		連用
		終止
		連体
		已然
		命令
↑ 本活用		
↑ 補助活用		

(例題2)

問「恨めしかりしなり」の文法的説明として最も適当なものを、次の①～⑥のうちから一つ選ぼう。(センター2002追試)

①「恨め」は動詞、「しか」は過去の助動詞、「り」は完了の助動詞、「し」は強意の助動詞、なりは断定の助動詞。

②「恨め」は動詞、「しかり」は動詞、「し」は過去の助動詞、なりは伝聞・推定の助動詞。

③「恨めし」は形容詞語幹、「かり」は形容詞活用語尾、「し」は強意の助動詞、なりは断定の助動詞。

④「恨めし」は形容詞、「かり」は動詞、「し」は過去の助動詞、なりは伝聞・推定の助動詞。

⑤「恨めしかり」は形容詞、「し」は過去の助動詞、なりは断定の助動詞。

⑥「恨めしかり」は動詞、「し」は強意の助動詞、なりは断定の助動詞。

(解説)

①「かり」の音に注目！ ()がどうかを確認！

「形容詞のチェックポイント」

「から・かり・かる・かれ」は ()のサイン！ (↑形容詞型活用の助動詞も)

そしてこの下にはまず ()がくる！
(未然形の下には「なむ」「ばや」の願望の終助詞は来れる！)

「から・かり・かる・かれ」があるので ()としましょう。なので、

①・②・⑥は消して、③④⑤を残す。

②「かりの下にはまず」 ()！

③「し」を「強意の助動詞」としてるが、下にくるのは助動詞なので ()

④は「恨めし」と「かり」を別のことばとして切っているので ()

⑤「恨めしかり」の下に助動詞が付いているので ()

よって ()が正解となる。

③残りの選択肢もチェック！

①「**恨め**」が動詞だとすると、「**な**」なので「**で切る**」。
 そうすると「**恨め**」という活用形はないので () ()

②①と同じなので、あえて「**恨め**」を「**恨まず**」と解釈してしまったケースで考える。すると「**で切る**」ので、「**恨め**」は () ()。
 文末ではないので命令形は入り。すると「**恨め**」は () ()。
 已然形のすぐ下に () ()は来ないので () ()

⑥「**恨め**」しか「**とき**」たら、 () () () ()

「ポイント②活用形からわかること」

未然形 「 こ ず」	() (形！、そうはな。てない形！) (例)読まず… ()
連用形 「 こ たり」	下の () に続く () の () (下が助動詞なら) () () (例)読みて… () ()
終止形 「 こ 。」	①と②の中間点なので、「 こ 」 (例)読む… () (形！)
連体形 「 こ とき」 「 こ こと」	下に () () (下が助動詞なら) () () (例)読むこと…下は () () 「 こ 」 () ()
已然形 「 こ ども」	() (形！) (例)読めども… () ()

形容動詞については次の講でやります！